

日本医療検査科学会医療情報委員会
令和5年度第2回委員会 議事録

1. 日時：2023年10月8日（日）9:00～9:30
2. 場所：場所：パシフィコ横浜（ZoomによるWeb併用）
3. 現地参加：片岡、長原、中島、下坂、湯地、田中、古賀、増田、佐藤、松下、萩原、油野
Web参加：前田、瀬戸山、
欠席：なし
4. 配布資料
資料1：前回議事録
資料2：第5回医療情報技術セミナー資料

5. 議事

- 1) 前回議事録（2022年度第1回委員会）の確認（資料1）
 - ・資料1に基づき、片岡委員長より前回議事の報告がなされた。
 - ・前回議事に関して、委員からの発言はなかった。

2) 報告事項

- (1) 第5回医療情報技術セミナーについて（資料2）→ 参加者は約100名であった。
 - ・資料1に基づき、片岡委員長より前回議事の報告がなされた。
 - ・講師を務める各委員より、講演内容についての説明がなされた。

テーマ：医療ビッグデータの利活用事例の紹介と今後の課題

日程：10月8日（日） 13:00～14:50（110分）

会場：第5会場 302

司会：片岡 浩巳（川崎医療福祉大学 医療技術学部）、長原 三輝雄（北陸大学）

講演1「政府が主導する全国の医療情報基盤の整備とデータ二次利用への効果」

講師：中島 直樹（九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター）

講演2「医療ビッグデータ活用の課題」

講師：湯地 晃一郎（東京大学医科学研究所 国際先端医療社会連携研究部門）

講演3「既存のデータからどのような解析ができるか？」

講師：古賀 秀信（株式会社麻生 飯塚病院治験推進本部臨床研究支援室）

講演4「RWDを活用した製造販売後データベース調査の取り組み状況」

講師：松本 卓之（第一三共株式会社 安全性疫学情報部 薬剤疫学グループ）

講演5「医療ビッグデータの研究事例を生成系AIで調べてみたら」

講師：瀬戸山 大樹（九州大学病院 検査部）

3) 審議事項

(1) 第6回医療情報委員会技術セミナー（2024年度）のテーマについて

審議の結果、以下の内容をテーマとする方向で引き続き検討していくこととなった。

- ・ ChatGPT 等の生成系 AI の効率の良い使い方について
- ・ 生成系 AI を用いたプログラミングのコーディングへの活用事例について
- ・ AI と比較した古典的手法の優れた点についての解説

また、委員会終了後、佐藤委員より技術セミナーのテーマとして以下の3点の提案がなされた。

1. 現在話題となっている chatGPT の利用に関して
2. 機械学習を利用した解析方法他多数発表されているが、その有用性評価について
3. データ解析の元になるソースの状況（医療 DX の状況）...データの標準化について

(2) 各施設における電子カルテの利用状況に関する調査方法について

- ・ アンケート調査について、第5回医療情報技術セミナーのオープニングで投影し、可能ならば、セミナー中に集計、討論に加えることとなった。
- ・ アンケート調査の内容は EMR を中心とし、EMR を利用可能な施設については EHR に関する質問が表示される形式とした。

(3) その他

会議終了後、中島委員より JLAC11 の普及促進、JLAC10 からの運用移行に関する諸問題についても議論すべきという意見が出され、次回以降の委員会にて審議していくこととなった。

4) その他

(1) 次回（2024年度第1回委員会）開催予定について

日時：2024年4月13日（土）で開催予定

場所：金沢市文化ホール（現地と Zoom 会議の両方で開催予定）

文責 油野